

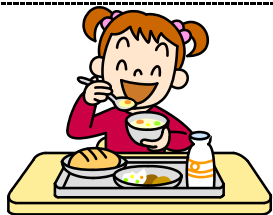


## スキルアップとリフレッシュの夏休み

毎日暑い日が続いていますが、先生方はいかがお過ごしですか。個人面談や部活動の指導、研修などに励んでいる方も多いと思います。市の教育研究所主催の研修にも、たくさんの先生方に御参加いただき、本当にありがとうございます。自己研鑽を積むことは、知識や技術の向上だけではなく、気持ちの充実も図れるものです。

また、お休みの日には、御自身や御家族のための楽しい時間を作っていただき、心と体のリフレッシュをしてください。

夏休み期間中の、充実した研修とリフレッシュで充電した先生方のパワーが、子どもたちの笑顔とやる気につながります。



## 食物アレルギーの対応について

学校給食において、食物アレルギー対応は、大きな課題となっています。下野市でも、研修会や食物アレルギー対応マニュアルの作成など、様々な取組をしています。

7月6日に国分寺東小で食物アレルギー研修会を実施しました。市の食物アレルギー対応アドバイザーである「グリムこどもとアレルギーのクリニック」の福田典正院長を講師に、アナフィラキシーショックを起こしてしまったときの対応について、緊張感の中での実技研修を行いました。

また7月28日（金）には、グリムの館に市内180人の教職員、調理従事者が集まり、下野市学校給食研究会・学校給食関係職員研修会が行われました。「失われたいのちと、これからを生きる子どもたちのために」と題し、食物アレルギー事故で亡くなった女の子の保護者から講話をいただきました。講話では、家族がどれほどの愛情を注ぎ、細心の注意を払いながら女の子を育ててきたのかを数々の写真と共に話されていました。私たちは、命の尊さ、重さを実感すると共に、絶対に事故を起こしてはならないということを肝に銘じました。

さて、下野市では、今年2月「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」が改訂され、現在、各学校で対応が行われているところです。食物アレルギーをもつ児童生徒が在籍する学校では、毎日、様々な注意を払いながら給食を実施しています。養護教諭や給食主任、当該学級担任等、給食指導やアレルギー対応が必要な児童生徒に直接かわる教職員だけではなく、全教職員が対応の仕方を共通理解し、誰もが対応できるよう備えておきたいものです。また、現在、食物アレルギーをもつ児童生徒が在籍していなくても、突然発症する可能性もあります。




大切な児童生徒の命を守るために、食物アレルギーの対応について理解を深め、当事者としての認識を強くもって組織的に対応できるように、万が一に備えた準備をしておきましょう。



# 【8月の予定】

※ 8月1日現在の予定です。詳細は文書でご確認下さい。

※ **市教育研究所主催行事**    **市関係行事**    **学校関係行事**    **その他**

日	月	火	水	木	金	土
		1 ・いきいき学び塾 9:00～ ・小中合同研修 14:00～ (南河内中学校区:南河内公民館) (石橋中学校区:石橋中) (国分寺中学校区:国分寺中) ・市調理従事者研修会 9:00～ (グリムの館)	2 ・いきいき学び塾 9:00～ ・市教職2・3年目研修 9:00～ ・小学校英語研修 9:30～ (緑小)	3 ・下中教研B部会 ・小中合同研修会 14:00(南河内第二中学校区:緑小) ・小学校英語研修 9:30～ (祇園小)	4 ・いきいき学び塾 9:00～ ・サマー・イングリッシュユ・ファン 9:30～・13:30～	5 ・広島平和研修派遣 (~8/7)
6	7 ・市教職員合同全体研修会 13:30～グリムの館 ・自閉症・情緒障害学級担当者等教員研修会 9:00～(下都賀庁舎)	8 ・いきいき学び塾 9:00～ ・小学校英語研修 9:30～(国東小) 13:30～(国小) ・小学生高松派遣(8/10)	9 ・いきいき学び塾 9:00～ ・教職員定期健康診断(国分寺公民館) ・小学校英語研修 13:30～(石北小) ・音楽実技 9:00～(吉西小)	10 ・いきいき学び塾 9:00～ 新教育課程説明会(管理職対象) 13:30～(佐野市文化会館)	11 (山の日)	12
13	14 学校業務休止	15 学校業務休止	16 学校業務休止	17 ・いきいき学び塾 9:00～ ・市学校運営協議会規則作成会議 10:00～ ・定例教育委員会 ・教職員定期健康診断(ゆうゆう館)	18 ・いきいき学び塾 9:00～ ・下地区中堅教諭研修(道徳) 9:30～(下都賀庁舎)	19 中学生議会 9:00～
20 中学生ドイツ派遣出発 (~8/26)	21 ・いきいき学び塾 9:00～ ・ICT活用研・情報教育研究研修(古山小) 9:00～、13:00～	22 ・いきいき学び塾 9:00～ 	23 ・いきいき学び塾 9:00～ ・下地区臨探教職員研修会 9:15～(栃木市大平公民館) ・市幼保小連絡協議会第1回研修会(教育講演会) 13:30～ ・サマー・イングリッシュ・アドベンチャー(蔓巻公園) 9:00～	24 ・いきいき学び塾 9:00～ ・下地区初任者研修会 9:00～(栃木市大平公民館) ・第1回就学支援委員会 14:00～ ・教職員健康診断(国分寺公民館)	25 ・いきいき学び塾 9:00～ ・県少年の主張下都賀地区大会(小山市) ・特別支援学校新教育課程説明会 10:00～(国特校) ・理科実技研修 9:00～(緑小)	26
27	28 ・市初任者研修 9:00～ ・ふるさと学習現地研修(希望研修) 13:00～ 市内史跡・施設	29 ・市小中学校長定例会議 9:00～ ・ゆうがお CAFE with Pepper 14:30～(古山小) ・市教委と学校講師の意見交換会 15:00～	30	31 ・子ども未来プロジェクト児童生徒交流会(石橋中学校区、国分寺中学校区) 14:00～ ・市学校給食食物アレルギー対応委員会 15:00～ ・第3回下野市議会開会 (~9/21)		

## 全員が楽しく学び合い「わかる・できる」授業を目指して (合理的配慮の提供)

各学校では、障害のある子どもも、ない子どもも可能な限り十分な教育が受けられるよう指導・支援・体制づくりについて、様々な工夫や取り組みを行っています。子どもはそれぞれ認知特性や学び方が異なっていて、言葉で説明した方がわかる子ども、図や絵と一緒に説明してもらえるとわかる子ども、全体を図で示してもらった方がわかる子ども、順番を追って示してもらえるとわかる子ども・・・と一人一人違ってきます。障害の「ある、なし」と分類して捉えるのではなく、また、子どもを教師の教え方に合わせるのではなく、子どもの学び方に教師の教え方を合わせるという発想の転換が必要です。

合理的配慮とは、障害があることによって、一般的な教育制度から排除されないように提供されるものであり、子どもの学習にとって必要かつ適当に変更したり、調整されたりするものです。学校や学級に互いに多様性を認め合う温かい風土、環境があれば、「〇〇さんだけノートではなくてPC(ワープロソフト)で、板書を写している」などと非難されたり、「自分だけみんなと違うノートを使うのはいやだ」と必要な支援を拒否したりすることもなく、合理的配慮を進めることができるようになります。

合理的配慮の提供の趣旨は、「すべての子どもたちにとってわかりやすく、学びやすい授業づくりや学級づくりを目指す」というユニバーサルデザインの考え方につながっています。